

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 介護福祉科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			情報科学	コンピュータの操作方法（ワード・エクセル・パワーポイント）を学ぶ。	1通 2前	90	3	○			○			○	
○			福祉英語	英会話に親しみ、福祉分野における多様なコミュニケーションを学ぶ。	1通	60	4	○			○			○	
○			国際福祉論	海外の福祉と文化を学び実際に見学体験をする。外国・異文化圏の福祉観や制度に触れ、福祉の展望や課題について考える。	2後	30	1	○				○	○		
○			介護福祉特講「地域福祉」と「介護予防」	「生活」「家庭」の視点から地域福祉の現状・展望を学ぶ。「介護予防」の視点から地域福祉の課題と展望を学ぶ。クラス、グループ活動を通して協働とリーダーシップについて学ぶ。	1前 2通	90	6	○			○			○	
○			介護福祉研究	高齢者の楽しみ活動の支援・介助についてグループ研究として取り組む。知識を専門的に身につけ論文を作成・発表する。	1後 2通	90	3	○			○		○		
○			試験対策講座	国家試験等の傾向と対策において介護福祉士の知識技術を確認する。また、検定試験の合格を目指す。	2通	60	4	○			○			○	
○			手話	聴覚障害者とのコミュニケーションの基本的知識、技術を身につける。	1後	30	1	○			○			○	
○			健康科学講座	介護予防を学ぶ1つとして健康分野とケア分野の専門知識を理解し日常生活動作向上につなげる技法を身につける。	2通	60	4	○			○			○	
○			人間の尊厳と自立	介護における尊厳・自立保持の支援や介護場面における倫理的課題を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			人間関係とコミュニケーション	介護実践に必要な人間理解、他者への情報伝達に必要なコミュニケーションを学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
○			社会の理解 I	個人を家族・近隣・地域・社会の単位でとらえ人間の自立について、および我が国の社会保障を学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 介護福祉科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会の理解Ⅱ	介護保険制度、障害者の自立支援を担う法制度、介護実践と諸制度を学ぶ。	2前	30	2	○			○			○	
	○		現代社会と職業	現代社会の基礎的問題を理解し、社会を見つめる感性を学ぶ。現代の職業を通して人間の生き方を考える。職業と言語(国語力)について学ぶ。	1通	60	4	○			○				○
○			生命科学Ⅰ	人間の生命・生命の維持、健康・健康の維持について基礎的な知識を学ぶ。	1前	30	2	○			○				○
○			生命科学Ⅱ	生命科学Ⅰを基礎に、バイオサイエンスの基礎や実際の高齢者介護の現場での医療者との連携についても学ぶ。	2後	30	2	○			○				○
○			介護の基本Ⅰ	尊厳を保持し、自立に向けた生活への介護、介護の専門的役割、ICFについて学ぶ。死生観について考える。	1通	60	4	○			○				○
○			介護の基本Ⅱ	介護福祉士の役割、介護実践の連携、安全確保とリスクマネジメント、健康管理について学ぶ。	1前 2後	60	4	○			○			○	
○			介護の基本Ⅲ	「生きがい」支援を学ぶ。レクリエーション活動の支援に必要な基本を身につける。関連する療法について学ぶ。	1後 2前	60	3	○	○		○			○	
○			コミュニケーション技術(理論)	援助的コミュニケーションを理解し、多職種連携のためのコミュニケーション力を身につける。	1前	30	2	○			○			○	
○			コミュニケーション技術(演習)	援助的コミュニケーションの技術(点字)の基礎を習得する。	2前	30	1		○		○				○
○			生活支援技術Ⅰ(理論)	家庭生活(小規模多機能・ユニットケア・グループホームも含む)の基本、家事の介護、緊急時の対応について学ぶ。	1前	30	2	○			○				○
○			生活支援技術Ⅰ(演習)	調理・被服実習を通して高齢者の生活の実際を学ぶ。	2後	30	1		○		○				○

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 介護福祉科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			生活支援技術Ⅱ (理論)	アセスメント・身支度・移動・食事・入浴・排泄・睡眠・終末期の介護の知識を学ぶ。	1通	60	4	○			○		○		
○			生活支援技術Ⅱ (演習)	アセスメント・身支度・移動・食事・入浴・排泄・睡眠・終末期の介護を演習を通じて学ぶ。	1通	##	4		○		○		○		
○			生活支援技術Ⅲ	尊厳の保持の観点から自立的な生活を支援するために、多様な利用者に応じた適切な介護技術を学ぶ。	2通	60	2		○		○		○		
○			介護過程	知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案する。適切な介護サービスの提供の為に介護看護の連携を学ぶ。	1後 2通	##	10	○			○		○		
○			発達と老化の理解	成長と発達、老年期の発達成熟、老化に伴う変化と生活《心身》、高齢者と健康について学ぶ。	1前 2前	60	4	○			○			○	
○			認知症の理解	認知症者の体験や意思表示が困難な特性を理解する。本人のみならず家族や周囲の環境にも配慮した介護を学ぶ。	1後 2前	60	4	○			○		○		
○			障害の理解	障害者の心理や身体機能に関する基礎的知識を学ぶ。本人のみならず家族や周囲の環境にも配慮した介護を学ぶ。	1通	60	4	○			○		○		
○			こころとからだのしくみ	介護技術の根拠となる人体の構造や機能および介護サービスにおける安全への留意点、心理的側面への配慮・ケアを理解する。多様な障害について理解を深める。	1通 2通	##	8	○			○		○		
○			こころとからだのしくみ (応用)	人間の心、身体のしくみの複合問題について学ぶ。	1後 2前	60	4		○		○			○	
○			医療的ケア	たんの吸引（口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部）、経管栄養（胃ろう又は腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生に関する知識や技能を習得する。	1後 2通	90	6	○			○		○		
○			介護総合演習	介護実習Ⅰ、Ⅱについて総合的に学習する。また介護看護の連携を行い他職種を理解をする。	1通 2通	##	8	○			○		○		

## 授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 介護福祉科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			介護実習Ⅰ	学んだ知識や技術を応用活用し、実践的な技術等を体得する。利用者との人間的な関わりを通して、求められる理解力・判断力を養う。	1後	96	2			○	○	○		○	
○			介護実習Ⅱ	学んだ知識や技術を応用活用し、実践的な技術等を体得する。利用者との人間的な関わりを通して、求められる理解力・判断力を養う。	1後 2前	##	8			○	○	○		○	
合計				35科目				2482単位時間(			127単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業科目の成績評価は、各学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。また、各科目の授業時間数の3分の1以上欠席した者は、その科目について評価を受けることができない。上記の評価に基づき、履修認定会議、卒業・課程修了判定会議を経て、学校長が行う。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	18週

**(留意事項)**

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。